

理系 広がる活躍の場

産学懇談会 558社が参加

**NEWS
CIT**

2023
11.15

ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼
2丁目17番1号

TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

<https://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行

ニュースガイド

2面 伊藤学長、生成AI語る／朝日地球会議で荒井PERC所長／古田所長、AI映画を評価／松崎教授が講演／田島准教授らグッドデザイン賞

3面 全日本理工科系空手で本学が
総合連覇／飯沼さん国際会議
特待生に／三浦教授ら優秀発
表賞／金原さん学生論文賞／
就職・進路支援便り

4面 寮祭が復活／よさこい風神、
敢闘賞／実験動物慰霊祭

千葉工大生へ信頼、期待

本学が企業と親睦を深め、学生の就職について情報交換する「産学懇談会」が11月2日、千葉市のホテルニューオータニ幕張で開かれ、昨年を大幅に上回る558社567人の人事採用担当者が参加した。イスラエルとハマス衝突の行方や、今なお続くロシアによるウクライナ侵攻、円安や物価高など外交・経済情勢が不透明感を増す中、ブランド力の向上著しい千葉工大生への信頼と期待が示された意見交換の場となった。



受付を済ませ教員らと名刺交換する企業の人事・採用担当者ら

産学懇談会は、受付・名刺交換ののち、第一部・講演会、第二部・情報交換会と、コロナ禍前のスタイルの2部構成で行われた。本学からは瀬戸熊修理理事長、伊藤穰一学長をはじめ、教職員らが総出で企業の人事・採用担当者らに対応した。

受付時刻前から企業の人事・採用担当者が集まり始め、各学科ブース前には長い列ができた。

15時から第一部が開催され、伊藤学長は冒頭のあいさつで、本学が今春の入学試験で全国の大学の中で近畿大に次ぐ2位の志願者数だったことを報告。一方、卒業後の就職は2022年度、卒業生2千人以上の実就職率ランキングで昨年に続き全国3位となり、「高い数字を維持できているの

手嶋龍一氏が講演

続いて、外交ジャーナリスト・作家の手嶋龍一氏が登壇。「危機の時代をどう生き抜くか」インテリジェンスを武器に――と題した講演が行われた。手嶋氏は、01年9月11日に起きたアメリカ同時多発テロ事件でNHKワシントン支局長として中継した際、大統領機エアフォースワンの降り立ったところに立ち会った、と当時の体験から話した。始め、ロシア・ウクライナ戦争から台湾海峡危機に至るまで、歴史的な背景や過去の戦争も踏まえた現状を伝え、聴講者らは熱心に耳を傾けた。最後はこれからの社会課題解決を担う学生たちを誤りなきように導いてほしいと締めくくった。

皆様のおかげです」とお礼を述べ、講演会後の情報交換会でも互いの意見、考えをシェアし千葉工大を未来へ進化させていただきたいと述べた。



手嶋氏の講演を聴く参加者たち

さつ。産学懇談の企業の採用担当参加してくれたこと謝を述べた。また変革科学部、未来学部が4月から週のことを報告。本学教育について、職員と力を含め、に求められるように育成に力を尽くすと締めくくった。

熱心に情報交換

続いて(株)SUBARU
常務執行役員人事部長の
小林達朗氏が企業を代表
して乾杯の音頭を取り情
報交換会がスタート。写
真下。各学科のテーブル
では名刺交換のため企業
の参加者が長い列を作



った。一段と進むDX
(デジタル・トランスフ
ォーメーション)など社
会変革の流れを受けて、
企業が求める学生の所
属学科(専攻)は多岐にわ

たる。各企業の事業内容も業種の垣根を超えて変化していることを背景に、熱心な質疑応答が交わされた。

「最先端の話
を聴くことが
でき、大変効
強になった」
「明るい日本
の未来を創っ
ていくための
強いメッセー
ジだったと感
じている。肝
に銘じて日々
の職務に邁進
します」など
のコメントが
寄せられた。

SUBARU開発で経験談

自動車工業会が「出張授業」

日本自動車工業会主催の「大学キャンパス出張授業2023」が10月12日、本学津田沼キャンパスを主会場に、新習志野キャンパスもオンラインで結んで開かれたII写真。今回は(株)SUBARUの堀陽一・執行役員が「SUBARUのモノづくりと、それを支える人」と題して講演した。

イク、モノづくりへの関心を高めることを目的に13年から開催。業界経営者から体験談やメッセージを直接聴く機会を提供している。

下だが、SUVなど4駆が得意”。販売中のレガシニアウトバックの設計・開発でプロジェクトリーダーとして社員200〜300人を率いた経験談を披露した。

「アウトドア用を意識し車体を登山靴をイメージしたラギット感（無



出張授業
は、同工業会
がクルマ・バ

といった新車4
これ11写真下、
RU社員と学生
たちの交流風
景も。午後の
講演会には主
会場・オンラ
インを合わせ
て計653人
が参加した。
堀氏は「世界
の新車販売台
数でトップ3
と比べると、
SUBARU
は10分の1以
下、荒削り」があるデザ
インにした。一番苦勞し
たのは、車上積載を前提
にカヌーなどを固定する
ロープを通す機構を考え
たが、走行時に風切り音
が出たり、デザイン性と
の兼ね合いなどで設計・
デザインに数年間を要し
た」と語った。1、2年
生から就職活動を終えた
高学年まで多くの学生た
ちが堀氏の体験談を聞
き、今年度の出張授業で
は本学の参加者が最多だ
ったという。

実装進む生成AI

「最後の仕上げが難しい」

伊藤学長 ▶ イベントにゲスト出演



伊藤慶一学長「写真」は10月26日、AIとビジネスをテーマにしたオンラインイベント「Gen AI EPO-Chatting」・生成AIはビジネスをどう変えるか？」に特別ゲストとして招かれ、技術的なクリエイティビティがわからないと新しいビジネスはできない。自分で理解する必要があるので勉強してほしいと呼びかけた。

知られる東大大学院工学系研究科の松尾豊教授や主催する弁護士ドットコム(株)の元柴太一郎代表取締役社長と対談した。

急速に進化し、社会実装が進む生成AIのアップリケーションやスタートアップに関して、伊藤学長は「巨大なLLM(大規模言語モデル)は作るのも使うのもコストが高いが、分野に特化したモデルが出現している。日本には独自の文脈があるので、こうしたモデルが出てくるのではないかと期待を示した。同時に「デモでは良いが、最後に役に立つところまで仕上げるのが実は難しい。私が期待しているほど、最後までできているビジネスというのは意外にないのではないか」と指摘した。

た。その上で「日本に人材がいなくてよく言われる。LLMで競争するのは難しいかもしれないが、技術と研究は日本も取り組む必要がある。何をすれば技術者は日本に戻ってきてくれるのか」と疑問を投げかけた。

松尾教授は「日本に技術者が足りないわけではない。彼らは経験を通じてノウハウを蓄積していることができる。海外のビッグテックとの大きな違いはデータのマネジメントのシステム、学習したモデルを管理するシステム、データの取り方など周辺環境だが、日本もそこを整えていけば、ハードルを感じる必要はないのではないか」と答えていた。

人類とAIの戦争が激化する世界の物語を描いた映画「ザ・クリエイター/創造者」(配給・ウォルト・ディズニージャパン)のギャレス・エドワーズ監督が来日し、10月18日に東京・六本木アカデミーヒルズで記念トークセッションが開かれた。本学未来ロボット技術研究センターの古田貴之所長がゲスト登壇し、「10年後の技術、未来が見えないならば、この映画を見ないといけない」と、研究者の立場からも太鼓判を押した。

語り、松尾教授も「経営者がデジタルの苦手な領域に入っていく。DXをやる大きなチャンスなので、今までできてこなかったデジタル化、データベース統合など、進んでほしい」と応じていた。

「もうすぐ来る。その時にどうするのか、人間は真剣に考えないといけない」と答えていた。映画は10月20日から全国の劇場で公開されている。

グ・ノーベル賞受賞に至った研究過程を説明し、プロダクトデザイナーとして製品への応用やデザイン事例を紹介。また、研究テーマ「フェーズフリー」を取り上げ、アイデアによって非常時のQOL(生活の質)の維持・向上を目指す重要性を強調。災害への脆弱性を小さくする各地の取り組みを示し「意識しなくても備わっている社会をつくらう」と呼びかけた。

参加者たちはアイデアをどう生み出すかを質問。松崎教授は「災害には予測できないところがある。一人で抱え込むよりも周りの協力を得ながら情報を吸収するのが必要」と答えていた。

宇宙開発 日本の活躍に期待

朝日地球会議で荒井PERC所長 ▶ 「官民学連携で」

持続可能な地球と社会について議論する国際シンポジウム「朝日地球会議2023」(主催・朝日新聞社)が10月9〜12日、都内・有楽町朝日ホールとオンラインを使い開催され、「月へ火星へその先へ 宇宙開発の未来は」と題したセッションに惑星探査研究センター(PERC)の荒井朋子所長「写真」と宇宙飛行士の土井隆雄・京都大学特定教授が登壇した。

荒井所長は「人類が月や火星に飛び出している。米国が今年、半世紀ぶりに宇宙飛行士による月面着陸を目指す『アルテミス計画』を開始し、インドも8月に無人探査機を月面に着陸させた。世界では米国、ロシア、中国、



インドをはじめ、月や火星への宇宙開発が活発化し、日本も来年以降、本学が主体的に開発に関わる小惑星探査計画DESTINY+セッションでは「DESTINY+」理學ミッションの責任者を務める荒井所長が、今後の日本の宇宙開発の戦略について「日本の強みを生かす」「官民学の連携」の2点を挙げた。

「はやぶさ・はやぶさ2で世界に先駆け、違う天体から無人でサンプルを取って来るという技術を獲得し、先日もアメリカが日本に続けということでおサイレックスがサンプルを持ち帰った」と述べ、世界をリードしている日本の小惑星探査技術の優位性を生かすべきだと強調した。DESTINY+は、一つの探査機で複数の小惑星を通過しながら観測する「フライバイ」という新たな探査技術の獲得を目指す。

もう一つの戦略については「宇宙開発ということこれまで官主導だったが、最近は民間主導の流れも出てきており、官と民と学が知恵を絞って協力して人類が宇宙に飛び出す準備を積極的に前向きに進めていければと思っている」と官民学連携の重要性を指摘した。

また、増え続ける宇宙デブリ(ゴミ)について、DESTINY+探査機は目標天体の小惑星フェーントンに向かう前に、地球の周回軌道を約2年かけて月まで徐々に高度を上げていく。その際、宇宙から飛来する塵(ダスト)と人工の宇宙デブリの分布をその場で測る計画をしていると語った。

★セッションのアーカイブ動画は来年1月まで<https://www.asahi.com/eo/awf/movie/>で配信され、自由に閲覧できる。

田島准教授ら「グッドデザイン賞」に選ばれる。その時は10月20日から全国の劇場で公開されている。

田島准教授は「国際的な教育環境での世界基準の学生寮が求められ、非常に高い水準の難しいプロジェクトでした。多くの人たちとの協働やコラボも多岐にわたりましたが、時間を掛けてひとつひとつの課題を解決し、無事に竣工し、昨年度から多くの生徒たちに使われ始めています。このタイミングでの受賞は、大変うれしく思っています」と語った。

田島准教授の専門は建築設計でありその実践活動を通して、建物に高いデザイン性や機能性を創出することで周辺環境や街の再生を図っている。

国際高校は栗本学園が円弧状に建ち、その前方、起伏に富み緑豊かな広い敷地にガラス張りドーナツ型・環境共生型の寮を完成させた。

外周の全寮室から中庭と周囲の自然が一望でき「一体感ある美しい造形」「ガラスに優しく映り込む緑や円形の中庭は、全寮制で人生の一期を過ごす学生たちの記憶に残る風景になる」(審査員講評)

校舎への動線が計算され、並ぶ寮室前の円形共用廊下は多目的スペースとして生かされた。

田島准教授は「国際的な教育環境での世界基準の学生寮が求められ、非常に高い水準の難しいプロジェクトでした。多くの人たちとの協働やコラボも多岐にわたりましたが、時間を掛けてひとつひとつの課題を解決し、無事に竣工し、昨年度から多くの生徒たちに使われ始めています。このタイミングでの受賞は、大変うれしく思っています」と語った。

田島准教授の専門は建築設計でありその実践活動を通して、建物に高いデザイン性や機能性を創出することで周辺環境や街の再生を図っている。

国際高校は栗本学園が円弧状に建ち、その前方、起伏に富み緑豊かな広い敷地にガラス張りドーナツ型・環境共生型の寮を完成させた。

外周の全寮室から中庭と周囲の自然が一望でき「一体感ある美しい造形」「ガラスに優しく映り込む緑や円形の中庭は、全寮制で人生の一期を過ごす学生たちの記憶に残る風景になる」(審査員講評)

校舎への動線が計算され、並ぶ寮室前の円形共用廊下は多目的スペースとして生かされた。

田島准教授は「国際的な教育環境での世界基準の学生寮が求められ、非常に高い水準の難しいプロジェクトでした。多くの人たちとの協働やコラボも多岐にわたりましたが、時間を掛けてひとつひとつの課題を解決し、無事に竣工し、昨年度から多くの生徒たちに使われ始めています。このタイミングでの受賞は、大変うれしく思っています」と語った。

田島准教授の専門は建築設計でありその実践活動を通して、建物に高いデザイン性や機能性を創出することで周辺環境や街の再生を図っている。

国際高校は栗本学園が円弧状に建ち、その前方、起伏に富み緑豊かな広い敷地にガラス張りドーナツ型・環境共生型の寮を完成させた。

外周の全寮室から中庭と周囲の自然が一望でき「一体感ある美しい造形」「ガラスに優しく映り込む緑や円形の中庭は、全寮制で人生の一期を過ごす学生たちの記憶に残る風景になる」(審査員講評)

校舎への動線が計算され、並ぶ寮室前の円形共用廊下は多目的スペースとして生かされた。

田島准教授は「国際的な教育環境での世界基準の学生寮が求められ、非常に高い水準の難しいプロジェクトでした。多くの人たちとの協働やコラボも多岐にわたりましたが、時間を掛けてひとつひとつの課題を解決し、無事に竣工し、昨年度から多くの生徒たちに使われ始めています。このタイミングでの受賞は、大変うれしく思っています」と語った。

田島准教授の専門は建築設計でありその実践活動を通して、建物に高いデザイン性や機能性を創出することで周辺環境や街の再生を図っている。

国際高校は栗本学園が円弧状に建ち、その前方、起伏に富み緑豊かな広い敷地にガラス張りドーナツ型・環境共生型の寮を完成させた。

外周の全寮室から中庭と周囲の自然が一望でき「一体感ある美しい造形」「ガラスに優しく映り込む緑や円形の中庭は、全寮制で人生の一期を過ごす学生たちの記憶に残る風景になる」(審査員講評)

校舎への動線が計算され、並ぶ寮室前の円形共用廊下は多目的スペースとして生かされた。

田島准教授は「国際的な教育環境での世界基準の学生寮が求められ、非常に高い水準の難しいプロジェクトでした。多くの人たちとの協働やコラボも多岐にわたりましたが、時間を掛けてひとつひとつの課題を解決し、無事に竣工し、昨年度から多くの生徒たちに使われ始めています。このタイミングでの受賞は、大変うれしく思っています」と語った。

田島准教授の専門は建築設計でありその実践活動を通して、建物に高いデザイン性や機能性を創出することで周辺環境や街の再生を図っている。

国際高校は栗本学園が円弧状に建ち、その前方、起伏に富み緑豊かな広い敷地にガラス張りドーナツ型・環境共生型の寮を完成させた。

外周の全寮室から中庭と周囲の自然が一望でき「一体感ある美しい造形」「ガラスに優しく映り込む緑や円形の中庭は、全寮制で人生の一期を過ごす学生たちの記憶に残る風景になる」(審査員講評)

校舎への動線が計算され、並ぶ寮室前の円形共用廊下は多目的スペースとして生かされた。

田島准教授は「国際的な教育環境での世界基準の学生寮が求められ、非常に高い水準の難しいプロジェクトでした。多くの人たちとの協働やコラボも多岐にわたりましたが、時間を掛けてひとつひとつの課題を解決し、無事に竣工し、昨年度から多くの生徒たちに使われ始めています。このタイミングでの受賞は、大変うれしく思っています」と語った。

田島准教授の専門は建築設計でありその実践活動を通して、建物に高いデザイン性や機能性を創出することで周辺環境や街の再生を図っている。

国際高校は栗本学園が円弧状に建ち、その前方、起伏に富み緑豊かな広い敷地にガラス張りドーナツ型・環境共生型の寮を完成させた。

外周の全寮室から中庭と周囲の自然が一望でき「一体感ある美しい造形」「ガラスに優しく映り込む緑や円形の中庭は、全寮制で人生の一期を過ごす学生たちの記憶に残る風景になる」(審査員講評)

校舎への動線が計算され、並ぶ寮室前の円形共用廊下は多目的スペースとして生かされた。

田島准教授は「国際的な教育環境での世界基準の学生寮が求められ、非常に高い水準の難しいプロジェクトでした。多くの人たちとの協働やコラボも多岐にわたりましたが、時間を掛けてひとつひとつの課題を解決し、無事に竣工し、昨年度から多くの生徒たちに使われ始めています。このタイミングでの受賞は、大変うれしく思っています」と語った。

田島准教授の専門は建築設計でありその実践活動を通して、建物に高いデザイン性や機能性を創出することで周辺環境や街の再生を図っている。

国際高校は栗本学園が円弧状に建ち、その前方、起伏に富み緑豊かな広い敷地にガラス張りドーナツ型・環境共生型の寮を完成させた。

外周の全寮室から中庭と周囲の自然が一望でき「一体感ある美しい造形」「ガラスに優しく映り込む緑や円形の中庭は、全寮制で人生の一期を過ごす学生たちの記憶に残る風景になる」(審査員講評)

校舎への動線が計算され、並ぶ寮室前の円形共用廊下は多目的スペースとして生かされた。

田島准教授は「国際的な教育環境での世界基準の学生寮が求められ、非常に高い水準の難しいプロジェクトでした。多くの人たちとの協働やコラボも多岐にわたりましたが、時間を掛けてひとつひとつの課題を解決し、無事に竣工し、昨年度から多くの生徒たちに使われ始めています。このタイミングでの受賞は、大変うれしく思っています」と語った。

田島准教授の専門は建築設計でありその実践活動を通して、建物に高いデザイン性や機能性を創出することで周辺環境や街の再生を図っている。

国際高校は栗本学園が円弧状に建ち、その前方、起伏に富み緑豊かな広い敷地にガラス張りドーナツ型・環境共生型の寮を完成させた。

外周の全寮室から中庭と周囲の自然が一望でき「一体感ある美しい造形」「ガラスに優しく映り込む緑や円形の中庭は、全寮制で人生の一期を過ごす学生たちの記憶に残る風景になる」(審査員講評)

校舎への動線が計算され、並ぶ寮室前の円形共用廊下は多目的スペースとして生かされた。

田島准教授は「国際的な教育環境での世界基準の学生寮が求められ、非常に高い水準の難しいプロジェクトでした。多くの人たちとの協働やコラボも多岐にわたりましたが、時間を掛けてひとつひとつの課題を解決し、無事に竣工し、昨年度から多くの生徒たちに使われ始めています。このタイミングでの受賞は、大変うれしく思っています」と語った。

田島准教授の専門は建築設計でありその実践活動を通して、建物に高いデザイン性や機能性を創出することで周辺環境や街の再生を図っている。

国際高校は栗本学園が円弧状に建ち、その前方、起伏に富み緑豊かな広い敷地にガラス張りドーナツ型・環境共生型の寮を完成させた。

外周の全寮室から中庭と周囲の自然が一望でき「一体感ある美しい造形」「ガラスに優しく映り込む緑や円形の中庭は、全寮制で人生の一期を過ごす学生たちの記憶に残る風景になる」(審査員講評)

校舎への動線が計算され、並ぶ寮室前の円形共用廊下は多目的スペースとして生かされた。

田島准教授は「国際的な教育環境での世界基準の学生寮が求められ、非常に高い水準の難しいプロジェクトでした。多くの人たちとの協働やコラボも多岐にわたりましたが、時間を掛けてひとつひとつの課題を解決し、無事に竣工し、昨年度から多くの生徒たちに使われ始めています。このタイミングでの受賞は、大変うれしく思っています」と語った。

田島准教授の専門は建築設計でありその実践活動を通して、建物に高いデザイン性や機能性を創出することで周辺環境や街の再生を図っている。

国際高校は栗本学園が円弧状に建ち、その前方、起伏に富み緑豊かな広い敷地にガラス張りドーナツ型・環境共生型の寮を完成させた。

外周の全寮室から中庭と周囲の自然が一望でき「一体感ある美しい造形」「ガラスに優しく映り込む緑や円形の中庭は、全寮制で人生の一期を過ごす学生たちの記憶に残る風景になる」(審査員講評)

校舎への動線が計算され、並ぶ寮室前の円形共用廊下は多目的スペースとして生かされた。

田島准教授は「国際的な教育環境での世界基準の学生寮が求められ、非常に高い水準の難しいプロジェクトでした。多くの人たちとの協働やコラボも多岐にわたりましたが、時間を掛けてひとつひとつの課題を解決し、無事に竣工し、昨年度から多くの生徒たちに使われ始めています。このタイミングでの受賞は、大変うれしく思っています」と語った。

田島准教授の専門は建築設計でありその実践活動を通して、建物に高いデザイン性や機能性を創出することで周辺環境や街の再生を図っている。

国際高校は栗本学園が円弧状に建ち、その前方、起伏に富み緑豊かな広い敷地にガラス張りドーナツ型・環境共生型の寮を完成させた。

外周の全寮室から中庭と周囲の自然が一望でき「一体感ある美しい造形」「ガラスに優しく映り込む緑や円形の中庭は、全寮制で人生の一期を過ごす学生たちの記憶に残る風景になる」(審査員講評)

校舎への動線が計算され、並ぶ寮室前の円形共用廊下は多目的スペースとして生かされた。

田島准教授は「国際的な教育環境での世界基準の学生寮が求められ、非常に高い水準の難しいプロジェクトでした。多くの人たちとの協働やコラボも多岐にわたりましたが、時間を掛けてひとつひとつの課題を解決し、無事に竣工し、昨年度から多くの生徒たちに使われ始めています。このタイミングでの受賞は、大変うれしく思っています」と語った。

田島准教授の専門は建築設計でありその実践活動を通して、建物に高いデザイン性や機能性を創出することで周辺環境や街の再生を図っている。

国際高校は栗本学園が円弧状に建ち、その前方、起伏に富み緑豊かな広い敷地にガラス張りドーナツ型・環境共生型の寮を完成させた。

外周の全寮室から中庭と周囲の自然が一望でき「一体感ある美しい造形」「ガラスに優しく映り込む緑や円形の中庭は、全寮制で人生の一期を過ごす学生たちの記憶に残る風景になる」(審査員講評)

校舎への動線が計算され、並ぶ寮室前の円形共用廊下は多目的スペースとして生かされた。

田島准教授は「国際的な教育環境での世界基準の学生寮が求められ、非常に高い水準の難しいプロジェクトでした。多くの人たちとの協働やコラボも多岐にわたりましたが、時間を掛けてひとつひとつの課題を解決し、無事に竣工し、昨年度から多くの生徒たちに使われ始めています。このタイミングでの受賞は、大変うれしく思っています」と語った。

田島准教授の専門は建築設計でありその実践活動を通して、建物に高いデザイン性や機能性を創出することで周辺環境や街の再生を図っている。

国際高校は栗本学園が円弧状に建ち、その前方、起伏に富み緑豊かな広い敷地にガラス張りドーナツ型・環境共生型の寮を完成させた。

外周の全寮室から中庭と周囲の自然が一望でき「一体感ある美しい造形」「ガラスに優しく映り込む緑や円形の中庭は、全寮制で人生の一期を過ごす学生たちの記憶に残る風景になる」(審査員講評)

校舎への動線が計算され、並ぶ寮室前の円形共用廊下は多目的スペースとして生かされた。

田島准教授は「国際的な教育環境での世界基準の学生寮が求められ、非常に高い水準の難しいプロジェクトでした。多くの人たちとの協働やコラボも多岐にわたりましたが、時間を掛けてひとつひとつの課題を解決し、無事に竣工し、昨年度から多くの生徒たちに使われ始めています。このタイミングでの受賞は、大変うれしく思っています」と語った。

田島准教授の専門は建築設計でありその実践活動を通して、建物に高いデザイン性や機能性を創出することで周辺環境や街の再生を図っている。

国際高校は栗本学園が円弧状に建ち、その前方、起伏に富み緑豊かな広い敷地にガラス張りドーナツ型・環境共生型の寮を完成させた。

外周の全寮室から中庭と周囲の自然が一望でき「一体感ある美しい造形」「ガラスに優しく映り込む緑や円形の中庭は、全寮制で人生の一期を過ごす学生たちの記憶に残る風景になる」(審査員講評)

校舎への動線が計算され、並ぶ寮室前の円形共用廊下は多目的スペースとして生かされた。

田島准教授は「国際的な教育環境での世界基準の学生寮が求められ、非常に高い水準の難しいプロジェクトでした。多くの人たちとの協働やコラボも多岐にわたりましたが、時間を掛けてひとつひとつの課題を解決し、無事に竣工し、昨年度から多くの生徒たちに使われ始めています。このタイミングでの受賞は、大変うれしく思っています」と語った。

田島准教授の専門は建築設計でありその実践活動を通して、建物に高いデザイン性や機能性を創出することで周辺環境や街の再生を図っている。

国際高校は栗本学園が円弧状に建ち、その前方、起伏に富み緑豊かな広い敷地にガラス張りドーナツ型・環境共生型の寮を完成させた。

外周の全寮室から中庭と周囲の自然が一望でき「一体感ある美しい造形」「ガラスに優しく映り込む緑や円形の中庭は、全寮制で人生の一期を過ごす学生たちの記憶に残る風景になる」(審査員講評)

校舎への動線が計算され、並ぶ寮室前の円形共用廊下は多目的スペースとして生かされた。

田島准教授は「国際的な教育環境での世界基準の学生寮が求められ、非常に高い水準の難しいプロジェクトでした。多くの人たちとの協働やコラボも多岐にわたりましたが、時間を掛けてひとつひとつの課題を解決し、無事に竣工し、昨年度から多くの生徒たちに使われ始めています。このタイミングでの受賞は、大変うれしく思っています」と語った。

田島准教授の専門は建築設計でありその実践活動を通して、建物に高いデザイン性や機能性を創出することで周辺環境や街の再生を図っている。

国際高校は栗本学園が円弧状に建ち、その前方、起伏に富み緑豊かな広い敷地にガラス張りドーナツ型・環境共生型の寮を完成させた。

外周の全寮室から中庭と周囲の自然が一望でき「一体感ある美しい造形」「ガラスに優しく映り込む緑や円形の中庭は、全寮制で人生の一期を過ごす学生たちの記憶に残る風景になる」(審査員講評)

校舎への動線が計算され、並ぶ寮室前の円形共用廊下は多目的スペースとして生かされた。

田島准教授は「国際的な教育環境での世界基準の学生寮が求められ、非常に高い水準の難しいプロジェクトでした。多くの人たちとの協働やコラボも多岐にわたりましたが、時間を掛けてひとつひとつの課題を解決し、無事に竣工し、昨年度から多くの生徒たちに使われ始めています。このタイミングでの受賞は、大変うれしく思っています」と語った。

田島准教授の専門は建築設計でありその実践活動を通して、建物に高いデザイン性や機能性を創出することで周辺環境や街の再生を図っている。

国際高校は栗本学園が円弧状に建ち、その前方、起伏に富み緑豊かな広い敷地にガラス張りドーナツ型・環境共生型の寮を完成させた。

外周の全寮室から中庭と周囲の自然が一望でき「一体感ある美しい造形」「ガラスに優しく映り込む緑や円形の中庭は、全寮制で人生の一期を過ごす学生たちの記憶に残る風景になる」(審査員講評)

校舎への動線が計算され、並ぶ寮室前の円形共用廊下は多目的スペースとして生かされた。

田島准教授は「国際的な教育環境での世界基準の学生寮が求められ、非常に高い水準の難しいプロジェクトでした。多くの人たちとの協働やコラボも多岐にわたりましたが、時間を掛けてひとつひとつの課題を解決し、無事に竣工し、昨年度から多くの生徒たちに使われ始めています。このタイミングでの受賞は、大変うれしく思っています」と語った。

田島准教授の専門は建築設計でありその実践活動を通して、建物に高いデザイン性や機能性を創出することで周辺環境や街の再生を図っている。

国際高校は栗本学園が円弧状に建ち、その前方、起伏に富み緑豊かな広い敷地にガラス張りドーナツ型・環境共生型の寮を完成させた。

外周の全寮室から中庭と周囲の自然が一望でき「一体感ある美しい造形」「ガラスに優しく映り込む緑や円形の中庭は、全寮制で人生の一期を過ごす学生たちの記憶に残る風景になる」(審査員講評)

校舎への動線が計算され、並ぶ寮室前の円形共用廊下は多目的スペースとして生かされた。

田島准教授は「国際的な教育環境での世界基準の学生寮が求められ、非常に高い水準の難しいプロジェクトでした。多くの人たちとの協働やコラボも多岐にわたりましたが、時間を掛けてひとつひとつの課題を解決し、無事に竣工し、昨年度から多くの生徒たちに使われ始めています。このタイミングでの受賞は、大変うれしく思っています」と語った。

田島准教授の専門は建築設計でありその実践活動を通して、建物に高いデザイン性や機能性を創出することで周辺環境や街の再生を図っている。

国際高校は栗本学園が円弧状に建ち、その前方、起伏に富み緑豊かな広い敷地にガラス張りドーナツ型・環境共生型の寮を完成させた。

外周の全寮室から中庭と周囲の自然が一望でき「一体感ある美しい造形」「ガラスに優しく映り込む緑や円形の中庭は、全寮制で人生の一期を過ごす学生たちの記憶に残る風景になる」(審査員講評)

校舎への動線が計算され、並ぶ寮室前の円形共用廊下は多目的スペースとして生かされた。

田島准教授は「国際的な教育環境での世界基準の学生寮が求められ、非常に高い水準の難しいプロジェクトでした。多くの人たちとの協働やコラボも多岐にわたりましたが、時間を掛けてひとつひとつの課題を解決し、無事に竣工し、昨年度から多くの生徒たちに使われ始めています。このタイミングでの受賞は、大変うれしく思っています」と語った。

田島准教授の専門は建築設計でありその実践活動を通して、建物に高いデザイン性や機能性を創出することで周辺環境や街の再生を図っている。

国際高校は栗本学園が円弧状に建ち、その前方、起伏に富み緑豊かな広い敷地にガラス張りドーナツ型・環境共生型の寮を完成させた。

外周の全寮室から中庭と周囲の自然が一望でき「一体感ある美しい造形」「ガラスに優しく映り込む緑や円形の中庭は、全寮制で人生の一期を過ごす学生たちの記憶に残る風景になる」(審査員講評)

校舎への動線が計算され、並ぶ寮室前の円形共用廊下は多目的スペースとして生かされた。

田島准教授は「国際的な教育環境での世界基準の学生寮が求められ、非常に高い水準の難しいプロジェクトでした。多くの人たちとの協働やコラボも多岐にわたりましたが、時間を掛けてひとつひとつの課題を解決し、無事に竣工し、昨年度から多くの生徒たちに使われ始めています。このタイミングでの受賞は、大変うれしく思っています」と語った。

田島准教授の専門は建築設計でありその実践活動を通して、建物に高いデザイン性や機能性を創出することで周辺環境や街の再生を図っている。

国際高校は栗本学園が円弧状に建ち、その前方、起伏に富み緑豊かな広い敷地にガラス張りドーナツ型・環境共生型の寮を完成させた。

外周の全寮室から中庭と周囲の自然が一望でき「一体感ある美しい造形」「ガラスに優しく映り込む緑や円形の中庭は、全寮制で人生の一期を過ごす学生たちの記憶に残る風景になる」(審査員講評)

校舎への動線が計算され、並ぶ寮室前の円形共用廊下は多目的スペースとして生かされた。

田島准教授は「国際的な教育環境での世界基準の学生寮が求められ、非常に高い水準の難しいプロジェクトでした。多くの人たちとの協働やコラボも多岐にわたりましたが、時間を掛けてひとつひとつの課題を解決し、無事に竣工し、昨年度から多くの生徒たちに使われ始めています。このタイミングでの受賞は、大変うれしく思っています」と語った。

田島准教授の専門は建築設計でありその実践活動を通して、建物に高いデザイン性や機能性を創出することで周辺環境や街の再生を図っている。

国際高校は栗本学園が円弧状に建ち、その前方、起伏に富み緑豊かな広い敷地にガラス張りドーナツ型・環境共生型の寮を完成させた。

外周の全寮室から中庭と周囲の自然が一望でき「一体感ある美しい造形」「ガラスに優しく映り込む緑や円形の中庭は、全寮制で人生の一期を過ごす学生たちの記憶に残る風景になる」(審査員講評)

校舎への動線が計算され、並ぶ寮室前の円形共用廊下は多目的スペースとして生かされた。

田島准教授は「国際的な教育環境での世界基準の学生寮が求められ、非常に高い水準の難しいプロジェクトでした。多くの人たちとの協働やコラボも多岐にわたりましたが、時間を掛けてひとつひとつの課題を解決し、無事に竣工し、昨年度から多くの生徒たちに使われ始めています。このタイミングでの受賞は、大変うれしく思っています」と語った。

田島准教授の専門は建築設計でありその実践活動を通して、建物に高いデザイン性や機能性を創出することで周辺環境や街の再生を図っている。

国際高校は栗本学園が円弧状に建ち、その前方、起伏に富み緑豊かな広い敷地にガラス張りドーナツ型・環境共生型の寮を完成させた。

外周の全寮室から中庭と周囲の自然が一望でき「一体感ある美しい造形」「ガラスに優しく映り込む緑や円形の中庭は、全寮制で人生の一期を過ごす学生たちの記憶に残る風景になる」(審査員講評)

校舎への動線が計算され、並ぶ寮室前の円形共用廊下は多目的スペースとして生かされた。

田島准教授は「国際的な教育環境での世界基準の学生寮が求められ、非常に高い水準の難しいプロジェクトでした。多くの人たちとの協働やコラボも多岐にわたりましたが、時間を掛けてひとつひとつの課題を解決し、無事に竣工し、昨年度から多くの生徒たちに使われ始めています。このタイミングでの受賞は、大変うれしく思っています」と語った。

田島准教授の専門は建築設計でありその実践活動を通して、建物に高いデザイン性や機能性を創出することで周辺環境や街の再生を図っている。

国際高校は栗本学園が円弧状に建ち、その前方、起伏に富み緑豊かな広い敷地にガラス張りドーナツ型・環境共生型の寮を完成させた。

外周の全寮室から中庭と周囲の自然が一望でき「一体感ある美しい造形」「ガラスに優しく映り込む緑や円形の中庭は、全寮制で人生の一期を過ごす学生たちの記憶に残る風景になる」(審査員講評)

校舎への動線が計算され、並ぶ寮室前の円形共用廊下は多目的スペースとして生かされた。

田島准教授は「国際的な教育環境での世界基準の学生寮が求められ、非常に高い水準の難しいプロジェクトでした。多くの人たちとの協働やコラボも多岐にわたりましたが、時間を掛けてひとつひとつの課題を解決し、無事に竣工し、昨年度から多くの生徒たちに使われ始めています。このタイミングでの受賞は、大変うれしく思っています」と語った。

田島准教授の専門は建築設計でありその実践活動を通して、建物に高いデザイン性や機能性を創出することで周辺環境や街の再生を図っている。

空手

全日本理工科系「総合」連覇

女子躍動

4部門Vで支える

第36回全日本理工科系学生空手道選手権大会（10月1日、東京・渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催）で、本学体育会空手道部（佐々木聡真主将、プロジェクトマネージャ・P.M.学科4年、部長・相川文弘教育センター教授、部員17人）が昨年に続いて総合優勝を果たした。

参加大学は法政大、東京工大、芝浦工大、大阪工大、日本大ほか。本学勢は男女の団体形、女子は団体と個人の組手、個人形と優勝を重ね、女子の活躍が総合優勝に大きく貢献した。この結果、全日本大学空手道選手権（11月19日、日本武道館



昨年に続き総合優勝を飾った体育会空手道部

で開催）の男子団体形・女子団体組手・女子団体形に理工科系代表として出場が決まった。個人部門で男子形の風

間翔英選手（P.M.学科2年）は、自分の実力を出し切ったので、切り替えて来年へ稽古に励みたい。女子組手の宮塚花選

■ 本学の成績

- 総合優勝 千葉工業大学
▽男子団体形
優勝（佐々木聡真、松並快歩、風間翔英）
▽女子団体形
優勝（野田里穂、宮塚花、北原愛菜）
▽女子団体組手
優勝（野田里穂、宮塚花、北原愛菜）
▽男子個人形
準優勝（風間翔英）
▽女子個人形
優勝（野田里穂）、準優勝（宮塚花）、3位（北原愛菜）
▽女子個人組手
優勝（宮塚花）、3位（北原愛菜）



のでうれしかった」と話した。チーム代表の佐々

木選手は「男子団体組手を落としてしまいました

た。悔しさをバネに全日本に挑みたい」と語った。

データサイエンス教材開発で

三浦教授ら優秀発表賞



高校や大学のデータサイエンス教育用に、オンライン教材や演習環境が開発されてきたが、データを修正し結果を確認するには毎回、分析操作をやり直す必要があった。

三浦教授らは、学習者がマウス操作でデータを修正すると結果を即座に反映するウェブ補助教材を、Processing（インタラクティブアートやビジュアル表現のためのプログラミング言語）で開発した。操作結果が即時に

視覚化されるので学習者の興味を引くうえ、視覚

化や分析手法の概要を短時間で学べ、繰り返し試行もできる。本学の講義で実践し、学生たちの感想を集めたことが教材設計に役立ったという。

三浦教授は「提案した教材はウェブアプリで開発しており、シンポで発表時も、URLを参加者

に公開して試せるようにしたのがよかったと考えられています。データサイエンス教育で、データを視覚的に表現しながら操作結果を即座に反映することで学習者の興味を引ける点が、高校や大学関係の参加者に評価されたと思います」と語った。

IOT開発実験を支援

金原さん学生論文賞

国際会議で



第18回知識・情報・創造性支援システム国際会議（KINGS 2023）9月20〜22日、福岡県の北九州国際会議場で開催で、金原雄大さん情報通信システム工学専攻修士1年、三浦元喜研究室Ⅱ写真）が発表した「IoTプログラミング実験に特化

した統合開発環境の設計と実装（原題は英文）」が学生論文賞と国際賞（会議創設者である國藤進・北陸先端大教授の名で贈られる賞）を受賞した。情報通信システム工学科では、IoTデバイス

開発ツールのMicrosoft Visio上で動作するプログラムをC言語で開発するIoTプログラミング実験を3年次に開講。電子工作用Arduino IDEやその拡張版を使用していたが環境構築の設定が複雑で書き込み時のシリアル接続管理が煩雑だった。

飯沼さん国際会議招待生に

SMCで発表

脳疾患制御を研究

「生活の質の向上」をテーマとした今年の米国電気電子学会SMC2023（2023年シシテム、人間、サイバネティクスに関する国際会議）に「Extremely Weak

Feedback Method for Controlling Chaotic Resonance（微弱共振によるカオス共鳴の制御）」の論文で応募した飯沼貴大さん（情報科学専攻修士2年、信川創研究室Ⅱ写真）がStudent Travel Grant（渡航補助特待生・50人）の1人に選ばれ、10月〜4日、米ハワイ・ホノルルで開かれた国際会議で発表し

た。



た。

た。

特性が精神疾患などで変質することが報告されている。その変質を外部からの微弱な振動で制御できれば、低侵襲な新治療法への応用が期待できる。

今回さらに、RRO法のフィードバック信号の局所的プロフィール（情報）を最適化することで、極めて小さい外部振動で高い同期を実現するよう改良したDGRRO法（double-Gaussian-filtered reduced region of orbit法）を提案した。

飯沼さんは「的確なアドバイスと議論をしてくださった信川先生、研究室メンバーに感謝しています。国際会議の委員たちに私の研究と発表への熱意が伝わり、うれしく思います」と述べた。

JOB & CAREER AFFAIRS

就職・進路支援

就職・進路に関する情報を届けます

記のQRコードからアクセスしていただくと、保護者用求人検索や進路先一覧等をご覧いただけます。なお、IDとパスワードは、「PPA地区懇談会資料集」をご確認ください。

現在の就活支援状況として、4年生及び修士2年生の就職支援は、主に

未内定者を対象に個別支援を強化しています。スピード選考が可能な学内企業説明会なども随時開催しております。

3年生及び修士1年生の就職支援は、各種セミナーなどが既にスタートしています。年内準備に

企業セミナー、個別指導も

業界・職種・企業理解セミナー

実施内容	
・業界・職種の説明 ・卒業生の仕事内容説明 ・今後のイベント案内	
日程及び参加企業	【11月30日】 レンゴー㈱、トピー工業㈱ キヤノン㈱、タカラスタンダード㈱ 三菱UFJフィナンシャルグループ
	【12月7日】 ㈱デジタルガレージ、㈱GSユアサ 日産自動車㈱、㈱コダックグループ
	【12月14日】 富士電機㈱、㈱富士通ゼネラル TDK㈱、ヨネックス㈱、スズキ㈱ ㈱アルファシステムズ
対 象	全学年全学科（専攻）
予 約	就職システムの支援行事予約
・各回詳細や実施教室・追加企業等は、就職システム及びメール配信をご確認ください。 ・服装自由	

不安や疑問があれば、就職・進路支援部を活用してください。併せてポータルサイトのチェックもお願いします。

寮祭 5年ぶり復活

ステージ囲み ▼ 出店、イベント



新習志野校舎 1号館前のステージで繰り広げられたパフォーマンス

コロナ禍などで中断していた学生寮の寮祭（寮祭実行委員会主催・岡垣昇汰委員長・寮長・生命科学科4年）が5年ぶりに10月8日（日）、新習志野キャンパスで開かれた。

4月初旬から寮祭まで半年、実行委員会と各フロア責任者、寮友会執行役員会メンバーの寮生約100人は、来場者に満足してもらえようという思いで、構成やタイムスケジュールを話し合ってきた。

知恵を絞って

出店の使用機器を電氣量を考慮した配線に、新習志野特有の強風対策や予算……考えるほどに問題山積。それでも理系らしく知恵を絞り、QRコードの読み取りからプログラムをウェブサイトで見ることができ、ペーパーレスを実現したりと、工夫を凝らした。特に1号館の湾曲した



実験動物の慰霊祭開く
実験動物の2023年度慰霊祭が9月20日、津田沼校舎2号館2階の会議室で行われた。写真。教育研究に



クイズ大会

よさこい風神 敢闘賞

第24回東京よさこい ▼ 池袋に全国134チーム

体育会よさこいソーラン風神部（服部美妃主将・プロジェクトマネジメント学科3年、部長・笠嶋義夫教育センター教授、部員130人）が、「第24回東京よさこい」（10月7、8



日、東京・池袋駅西口周辺で2日2夜にわたる「よさこい祭り」に参加した。主将、豊島区・東京芸術劇場共催、東京都など後援）で力強い演舞を見せ、敢闘賞（那珂川町長賞）を受賞した。池袋駅周辺を盛り上げる「よさこい祭り」は今年で56回目。大賞（東京都

編集だより



いま、若い女性の間で「ネクタイ」を着けたファッションが女性誌に取り上げられるなど、注目のアイテムとなっているらしい。

実際に、私の娘も通販でネクタイを購入したり父親に貸してとせがんだり、女子高校生間でも流行っているとのこと。

「若い女性がネクタイを着ける理由」については、「首元に飾りがあったら華やかに見える」「ネクタイを着けるだけでオシャレ」「大人っぽくなる」「かっこいい女性に見える」など……。ところが「結べない」といった悩みもあるようで、「webで検索する」が主流のようだが、「お父さんに結び方を教わった」という意見も……

大橋 慶子

四季雑感



店頭に残ったが並ぶ季節がやってきた。とりわけ「青森産」を見つけたとじっくり見入ってしまう。

父の実家は津軽富士の麓で古くから営むりんご農家である。いまも叔父と祖母がりんごを育てている。その祖母は90半ば

収穫が終盤を迎える11月初めに農園を訪れた。親族が総出でもいまだ実を祖母が品質ごとに箱に仕分けする。質を見定める眼光は鋭い。それでいて手先は素早い。この役目は今も祖母の独壇場である。過日、今年も無事収穫

秋田谷 洋

PPA



このあいだ典型的な秋晴れの日に洗濯物を干していたんです。割と几帳面な性格で、タオルはタオル、シャツはシャツと整列して干してしまいがち。当然、靴下もペアで整列させるのですが、いくら探しても女性ものの靴下が片方しかないんです。洗濯機やベランダま

での動線も探しましたがありません。何かモヤモヤしつつ数日が経ち、また洗濯物を干していたんです。今度は女性もので、色や形の違う靴下が片方ずつしかありません。

我が家で女性といえは儉約家の奥様がズボラな娘のどちらかです。えっ！まさか片方だけでも穴があくまで履きつづける儉約精神なのか？でも片方しか洗濯していないときがあるということ片方しか履いていない

ということ？ そうなるとズボラのほうが？ 念のため直接本人に聞く前にChatGPTさんに助けを求めたところ、「それはちょっと不思議ですね。もう一方の靴下はどこかに隠れているのかもしれないですね」と軽くあしらわれてしまったので、意を決して「あっそれ私、寝ぼけて……」ズボラ恐るべし。プロジェクトマネジメント学科 加藤 和彦